

教会各位

私達は日本で One Music 総合伝道プロダクションを通して音楽を用いて超教派の働きをしている者です。今まで原発の風評被害を受けている福島に重荷を持ち、地元の教会と協力し、主に仕えてきました。今回、震災支援の CD を制作しました。この CD がアメリカ西海岸にある日本人教会と東北をつなぐ架け橋として用いられたいと願いを込めて作りました。

今でも福島では多くの教会が自分を省みずに人の痛みに寄り添い、主に献身的に仕えています。仮設住宅を訪問し、カフェを開き、多くの地元の人たちと交流を持ち、関係を作っています。しかし、最前線で働く牧師たちは疲れきっています。教会員の人たちもボランティア活動に負われ、教会の中に物資が詰まった中で自分達の礼拝する場所としての教会を確保するために必死にもがき苦しんでいます。突然目の前に広がったニーズの多さに押し潰され、大切な礼拝をすることもできずに居場所であった教会も取り去られている状況です。

私達が日本の地で支援活動をする中で一つの葛藤を覚えています。それは痛みを寄り添うために教会の門を広げる必要がある今日にあって、どうしても教会としての指針を見失ってしまうという事実です。本来の教会としての姿を見失ってしまう危機感を覚えています。これは伝道の最前線にいる教会の中では解決できない問題です。日本にある教会では担いきれない重荷です。

私達はこのときのために日本人教会をアメリカの西海岸に主がお建て下さったと信じています。今一度、日本の教会のために一つとなり、東北の地で主に仕えている教会を支えていただきたいと思います。是非、日本のために今までも祈りを積んできて下さった日本人教会にもう一度、伝道の最前線で働く教会を支えるために支援していただけたらと願っています。そのために CD を配っていただき、献金を募っていただき、私達が直接東北で仕える教会に送り届けたいと願っています。

私達、One Music 総合伝道プロダクションでは、JEMS の協力を得て、東北のために音楽を通して福音を伝えていきたいと考えています。今回は日本側から CD を制作し、アメリカに現状を伝えるために来ました。来年はアメリカ側から日本語教会の若い青年たちにバンドを組み、日本に宣教のために来てもらうことを考えています。そして、毎年、交互に交流を持ち続けていけたらと願っています。是非、祈りに覚えていただき、CD を用いていただけたら幸いです。主にある兄弟として、そして、日本人として同じ重荷をこれからも背負い、共に主に仕えていけたらと願っています。

With the reciprocal love of Christ

木村基一(Son Chapel 牧師、フリースクール恵友学園長、JTJ 新学校卒)

中村穰(上野の森キリスト教会宣教主事、ムラサキスポーツ文化事業部勤務、Wesley Biblical Seminary 卒)

